

駐車場の木製ドア

概要

- ・ セカンドカー駐車場アプローチの木製ドアを更新する。
- ・ 以前は、アイリスオオヤマの木製ドアを取り付けていたが、今回は少し頑丈に自作したい。
- ・ 取手は設けず、引きバネによる自動閉止ドアとする。

寸法 扉：675 幅×40 厚×750 高

親柱 60φ×925（自由長 1500）

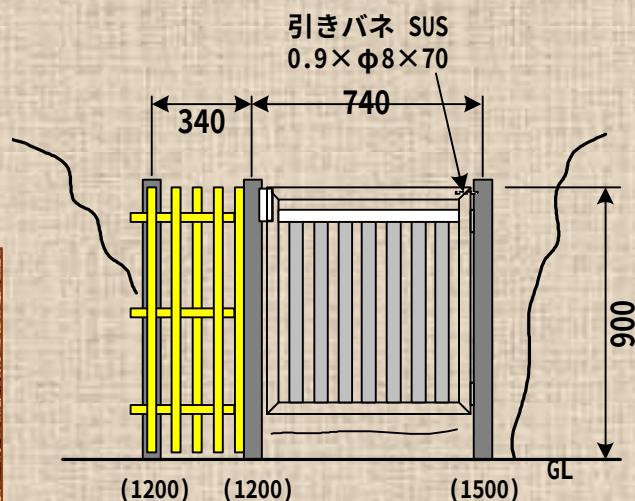
材料 扉材：ラティスデバイダー&赤松
柱材：焼磨棒 60φ×1500&1200

塗装 水性外部用塗料 ウォルナット

費用 約 3,413 円（塗料除く）



↑ポストも含み 2,580 円で今でも通販されている木製ドア（アイリスオオヤマ）：扉幅：600mm

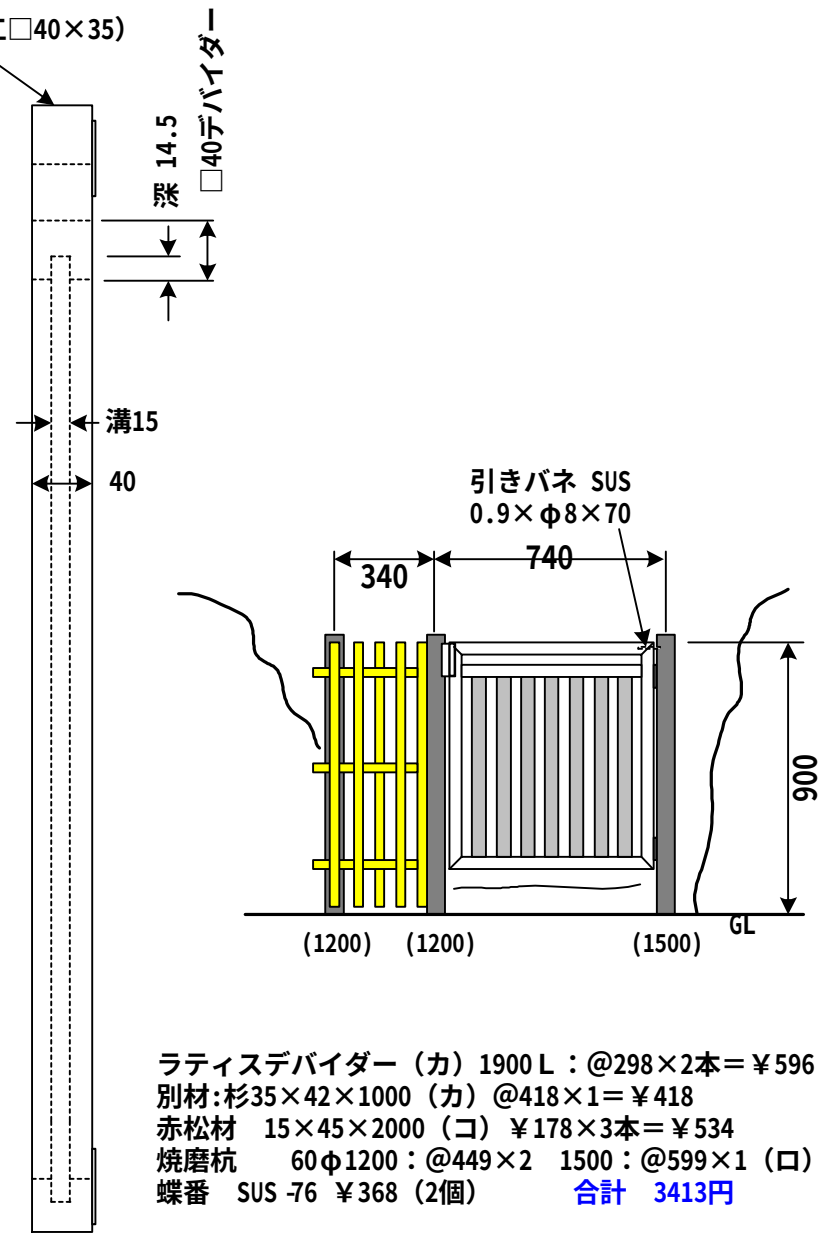
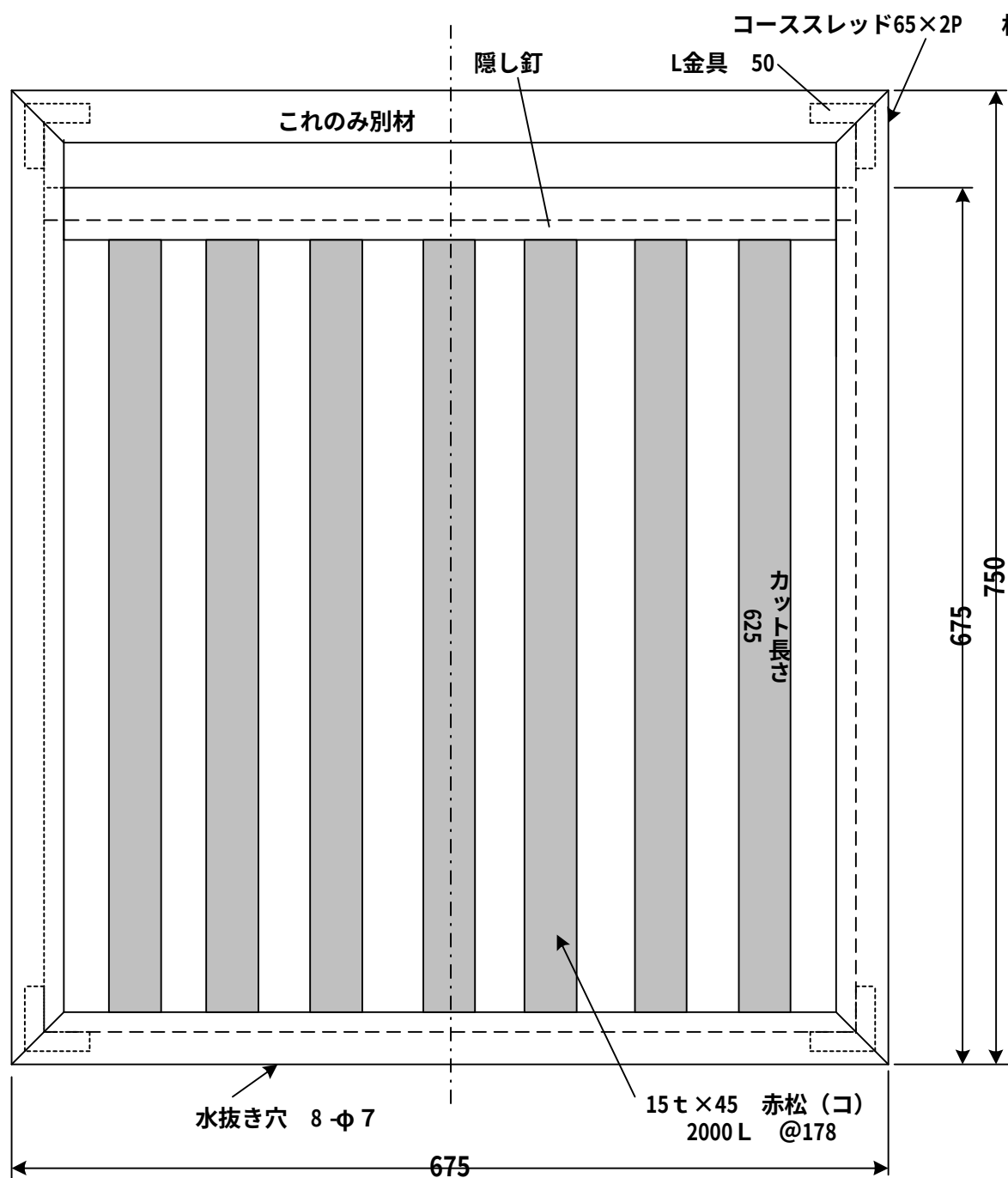


竹垣の横のシールは、バック入庫時の目印（反射シール）



裏話

- ・ 5～6 年前に設置した木製ドア（アイリスオオヤマ製）は、設置も簡単なのだが軽量の質感が不満だったので、今回は少し重量感を出したかった。
- ・ 格子構造は面倒なので単純な短冊構造にしたが、短冊を納める溝をどう加工しようか、音がうるさいトリマーしかないかと迷っている内に、ラティスのデバイダーというコの字形の材料があることに気づく。
- ・ 主に買物などのアプローチドアなので、取手操作は両手が塞がった状態では面倒になる為、バネを使って自動的に閉まるようにしている（衝撃は弾性クッション材で吸収）
- ・ 袖の竹垣もアクセントになったので、今度はメンテをしながら 10 年程度は持たせたい。



L金具 50mm 4個 残材
 竹材 残材
 クッション材 残材
 SUS引きバネ 0.9×8×70 残材
 水性木部保護塗料ウォルナット アサヒペン